

# 11月の中小企業月次景況調査(茨城県)

[令和元年11月末現在]

令和元年12月13日  
茨城県中小企業団体中央会

全体で、「景況」「売上高」「収益状況」の主要3指標DIを見ると、「売上高」「収益状況」は改善したが、「景況」は変化がなかった。

製造業では、「売上高」は改善したが、「景況」「収益状況」は悪化した。非製造業では、「景況」「売上高」「収益状況」はすべて改善した。特に、売上高は前月の消費税増税や台風によって大幅に悪化した反動により、当月は非製造業の売上高が大幅に改善し、全体の数値を押し上げた。

## 景況DI

製造業は、前月比7.7ポイント悪化の-34.6ポイント、非製造業は、前月比8.4ポイント改善の-20.8ポイント、全体では、前月比で変化なしの-28.0ポイントとなった。

## 売上高DI

製造業は、前月比3.8ポイント改善の-23.1ポイント、非製造業は、前月比37.5ポイント改善の-20.8ポイント、全体では、前月比20.0ポイント改善の-22.0ポイントとなった。

## 収益状況DI

製造業は、前月比7.7ポイント悪化の-34.6ポイント、非製造業は、前月比16.6ポイント改善の-16.7ポイント、全体では、前月比4.0ポイント改善の-26.0ポイントとなった。

茨城県中央会では、中小企業を取り巻く様々な環境の変化の下で、中小企業の発展を確保していくために中小企業の動向、問題点、要望等を機敏かつ的確に把握するために、中小企業で構成されている事業協同組合等の中小企業団体に業界景況ウォッチング連絡員を設置し、最新の「景況、売上高、収益状況、販売価格、取引条件」などの景気動向調査を実施しております。

## 情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
食料品	パン	前月より消費税が引き上げになった。基本的に学校給食は加工収入売上なので消費税は10%になる。しかし、各市町村の地場米を使用した米粉パン等は仕入・製造・販売によるものなので8%の軽減税率が適用される。なお、県給食会が関知しない一般給食（病院向け、その他の施設向け）は同じく軽減税率で8%となる。消費税引き上げによる大きな困難は現状では起きていない。
	餡	
	味噌	天候不順により、製品の質や販売量に少なからず影響が生じている。
	酒	○県内全体の課税移出数量・業界全体の現状 当県10月の清酒課税移出数量は、10月の消費税増税を見越しての9月の駆け込み購入の反動により、清酒全体で対前年同月比81.1%と大幅に減少した。本格焼酎についても、清酒同様に大幅に減少し、対前年同月比72.4%となった。好調であった輸出については、10月の全国清酒輸出の韓国への輸出量減少が大きく、対前年同月比89.1%と大幅に減少した。 ○県内当業界について 10月に第90回関東信越国税局酒類鑑評会の表彰式が行われ、当県の酒蔵25蔵が入賞した。出品数に対する入賞率は、関東信越の各県に対して58%とずば抜けて好成績を収めた。茨城の酒質の向上が評価された結果である。また、11月22日に第1回常陸杜氏合格者の認定式を行った。今回が初回であり、優秀な常陸杜氏が3名誕生し、今後の茨城の酒の発展に貢献してくれると期待している。
	納豆	全体的に消費量が減少しているために販売価格の値下げが増加している。旅先土産品の売上が前年同月と比較して減少した。大子方面の水害のため観光客が減少し、常磐道の売店はすべて売上が減少した。また、消費税増税に伴う心理的な影響も売上減少の要因として考えられる。
	菓子	
繊維工業	織物	
	袋物	ここにきて一度に受注が入り、12月納期に追われている。受注のバランスがとても難しい。
	衣服	
木材・木製品	製材	・当月もKD・間柱・筋違・貫・胴縁などの羽柄材は動きを見せているものの、構造材などは落ち着いた荷動きとなっている。 ・台風により林道等に被害があり、丸太の出材にも影響が出ている。 ・プレカット工場の稼働状況は、好調に推移している。 ・輸入材では、大手製材メーカーのストライキが続き、現地挽き製品の国内需要に影響が生じている。
	県北地区プレカット	納品が延期されていた物件の予定が次々確定し、納品することができた。受注に関しては、消費税増税の影響なのか新規物件が減少した。当月前半は、大型物件の加工があったが、中旬以降は物件が少なく稼働率が落ちた。例年年末年始は繁忙期であるが、今年はその兆しが見えず困っている。
	県央地区プレカット	当月後半は大型物件もあり、忙しい状況であった。来月も引き続き加工予定が詰まっているので、年末ギリギリまで加工をする状況となりそうだ。年明けも大型物件の需要は高そうである。
紙・紙加工品	段ボール	大手・中小共に業績が悪く、前年同月と比較して1割以上売上が減少したところが多くみられた。9月・10月の台風によるものや景気が悪くなっていることが想定されるが、今後の不安である。大手の業績を見ると、来年度が不安である。
印刷	総合	地区内組合員の業況に特段の変化はなかった。
化学・ゴム	自動車部品	
窯業・土石製品	県央地区石材	
	県西地区石材	
	コンクリート製品	共同販売売上高は、上半期においては前年と比較して大きく下回っていたが、10月末時点では対前年比90%まで回復した。今後、台風19号の災害復旧工事発注による張ブロック等の河川製品の供給増加が見込まれる。
	焼物	今年の秋は県内への台風等で大きな被害が発生した。笠間市内でも秋のイベントが中止になる等の影響はあったが、大きな混乱はなかった。もうすぐ令和元年が終わるが、来年はいい年になるようがんばって参りたい。
	生コンクリート	

## 情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
製造業	鉄鋼・金属	鍍金 受注量は、前年同月比10~20%減少した。自動車・電気・重電機・機械部品等の全ての業種の取引が低調であった。この傾向は来月も継続しそうである。金属材料は亜鉛・ニッケル等の価格は下落傾向にあるが、貴金属等は全般に高値で推移している。工業薬品については大きな変化はなく、前月並みの水準である。石油・ガソリン等の燃料費が上がっている。	
	一般機器	精密機器	
		工業団地	対象7組員(製造会社)の売上状況は、前年同月と比較してすべて減少した。全体増減率は前年同月比87%であった。得意先の減産は継続され、組員各社の売上高の減少幅が拡大した。想定以上の減産となっており、人員の余剰感も出ている。1月以降の増産の期待感も薄れている。
	電気機器	重電	
	輸送機器	自動車部品	生産高は緩い落ち込みであるが低下傾向にあり、先行きに不安を感じている。
		輸送車両	
その他の製造業			
非製造業	卸売業	水産卸	精算所取扱高は、前年同月比4.33%減少した。前月同様に鮮魚(サンマ、イカ、鮭)等の入荷が少なく、高値で推移している。冷凍品は、年末商品の入荷があり、冷凍庫入荷貨物は増加している。当組合で運営している冷蔵倉庫が施設の老朽化のため、来年1月からの建て替えを計画している。
		県南地区卸	10月の消費税増税により販売価格が上昇した。
		食品卸売業	当月は野菜・果実合計で前年同月比101%の取扱高となった。前月に上陸した台風・豪雨の影響で、関東産のホウレンソウ等の葉物類、大根・ニンジン等の根菜類に品質低下や生育の遅れが見られ、数量減と相場の上昇につながった。同じく台風・豪雨の影響が懸念されたイチゴに関しては、植え替え作業などのため遅れがみられたが、当月の好転の影響もあり生産量は回復に向かっている。
		セメント卸	袋セメントの出荷袋数は、前年比約8%減少した。相変わらず減少傾向が続いているが、前月比では18%増加となり減少幅が縮小した。
	小売業	県北地区共同店舗	売上は前年同月比111.8%、客数は同105.2%となった。前年同月の売上を確保した店舗は52.6%と約半数だったものの、前年同月の売上の9割以上を確保した店舗は79%となり好調であった。一方、経営のスリム化のため、22年間施設の顔であったインフォメーションカウンター業務を11月末をもって終了した。
		県央地区共同店舗	アパレル・雑貨品を中心に売上は前年割れとなった。最寄り品への集客は依然として好調なため、その顧客が買回り品に流れるよう歳末のイベントを強化したい。
		県南地区共同店舗	業種に関係なく、全体的に売上不振であった。売上の前年同月比は、衣料90.8%、文化品97.2%、食料品91.3%、飲食98.5%、サービス89.8%となった。特に、サービス部門のフィットネス店の客数が前年同月比79.7%と大苦戦した。近隣に24時間営業のフィットネス店がオープンした影響だと考えられる。
		クレジット	
		家電	消費税増税の反動と異常気象により、例年の11月と比べると組合員の売上高は減少した。反面、商売を計画的に進めている組合員は、数としては少ないものの計画・前年の売上を確保することができている。商売の基本(仕入、販促、情報)を揃えている結果だと思われる。年末商戦がスタートするが、新4K・8K対応テレビは多少足踏み状態だったがここにきて順調に進んでいる。組合員の今後に期待したい。
		石油	原油価格が安定して推移しているため、ガソリンの販売価格は前年同月比11円下落した。仕入価格は、前月比で1.5円上昇しているが、販売価格に転嫁できていないため、依然として厳しい経営環境が続いている。
		農機具	
		中古自動車	売上高は前年同月比124.5%、販売台数は同109.7%、販売価格は同113.5%であった。前年同月比で販売台数・販売単価が上昇したことにより売上高が増加した。
	飲食品	ポイント還元事業の影響もあり引き続き売上高は横這いで推移した。食品流通業界のため、今後はHACCP関連の周知徹底を図りたい。また、併せて食品表示法改正に伴う表示の在り方についても引き続き研修を重ね、4月から問題のないように心掛けていきたい。	

## 情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
非 製 造 業	商店街	水戸	
		筑西	
	サービス業	自動車整備	組合員事業場の車両入庫状況指数である継続検査台数(持込検査)は、前年同月比で普通車が91.7%、軽自動車が94.4%となり、普通車・軽自動車共に減少となった。
		ホテル・旅館	9月・10月に発生した台風による施設・設備への被害、更には風評による被害も思いのほか大きく、当月は県内各エリアの景況格差に幅がみられる。10月に開催予定であった障害者スポーツ大会の中止は、家族経営で長年営んできた小規模施設にとって今後の見通しが立たない程の打撃となり、経営を絶つ施設の報告があった。
	建設業	総合	大規模工事の発注が落ち着き、小規模工事の発注が数多くされたが、各社人手不足のため受注が困難になっている。人手不足は職人だけではなく技術者も不足しているため前月よりもさらに小規模工事の不調が多くなってきた。
		電気工事	
		管工事	
		交通安全施設	
	運輸業	鉄筋工事業	
		貨物軽自動車運送	当月の組合員数は119名、車両台数は149台で前月と比較して組合員は1名増加、車両台数は変化がなかった。 また、全国連合会での当月の組合員数は7,986名、車両台数は9,469台で前月と比較して10名減少、9台減少であった。
	県北地区一般貨物	主要顧客の動向について、出荷物量は低調となるが売上高は横這い。輸送運賃についても対象改善はされたが、経費が増加し依然として収益は厳しい。また、運転手不足による空車が発生している。	
その他の非製造業			

## 行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	パン	パン給食回数の増加要望
	酒	31年度の需要振興策として、地元(県内)消費に繋がる県内蔵元と連携した施策を要請。
小売業	石油	揮発油税に消費税を課税している二重課税の廃止。
建設業	総合	建設業界の人手不足の原因の一つに、書類の多さがある。小規模の工事でも基本的には同じ書類を要求される。 そのため、小規模工事は工事金額に対する書類作業作成の経費が多く利益を圧迫している。それが不調の原因の一つである。無駄な書類作業がないか検討して対処していただきたい。

月次景況調査 11月のD I（前年同月比）

項 目	全 体			製 造 業			非 製 造 業		
	11月	10月	前月比	11月	10月	前月比	11月	10月	前月比
景 況	▲ 28.0	▲ 28.0	0.0	▲ 34.6	▲ 26.9	▲ 7.7	▲ 20.8	▲ 29.2	8.4
売 上 高	▲ 22.0	▲ 42.0	20.0	▲ 23.1	▲ 26.9	3.8	▲ 20.8	▲ 58.3	37.5
収 益 状 況	▲ 26.0	▲ 30.0	4.0	▲ 34.6	▲ 26.9	▲ 7.7	▲ 16.7	▲ 33.3	16.6
販 売 価 格	2.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	4.2	0.0
取 引 条 件	▲ 6.0	▲ 8.0	2.0	▲ 3.8	▲ 3.8	0.0	▲ 8.3	▲ 12.5	4.2

# 中小企業月次景況調査(令和元年11月)DI値(前年同月比)

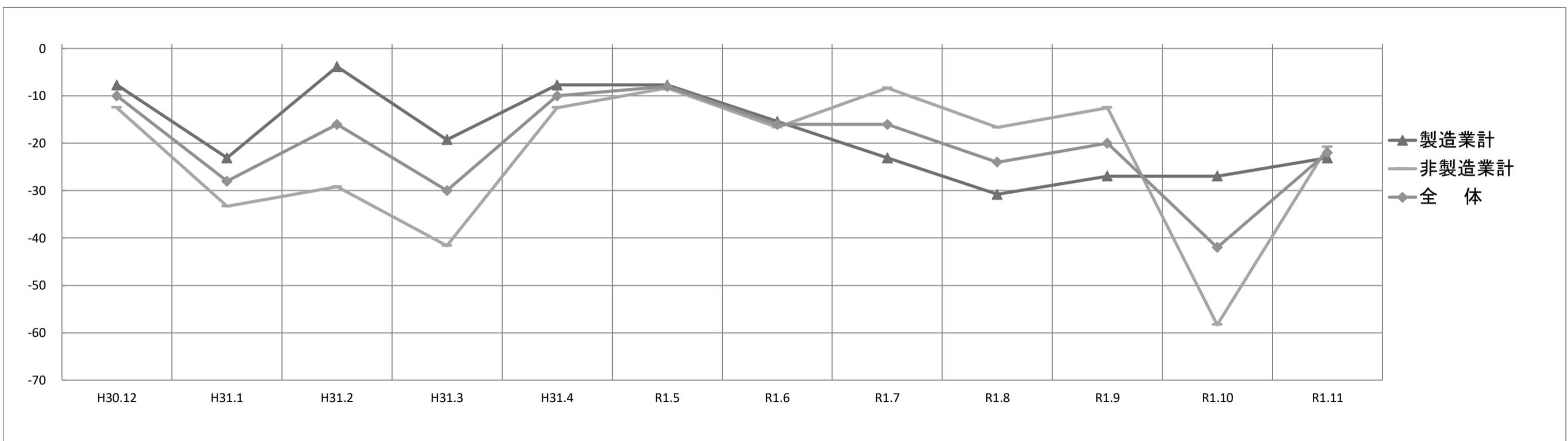
	売上高				在庫数量				販売価格				取引条件				収益状況				資金繰り				設備操業度				雇用人員				業界の景況																
	DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)																	
		増加	不変	減少	業界数		増加	不変	減少	業界数		上昇	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		増加	不変	減少	業界数	好転	不変	悪化	業界数										
製造業	食料品	△ 33.3	1	2	3	6	△ 16.7	0	5	1	6	△ 16.7	0	5	1	6	0.0	0	6	0	6	△ 33.3	0	4	2	6	△ 16.7	0	5	1	6	0.0	0	6	0	6	△ 33.3	0	4	2	6	△ 33.3	0	4	2	6			
	繊維工業	33.3	1	2	0	3	0.0	1	1	1	3	33.3	1	2	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3			
	木材・木製品	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	33.3	1	2	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3			
	紙・紙加工品	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1			
	印刷	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1			
	化学・ゴム	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1			
	窯業・土石製品	△ 20.0	1	2	2	5	0.0	0	5	0	5	20.0	1	4	0	5	0.0	0	5	0	5	△ 40.0	0	3	2	5	0.0	0	5	0	5	0.0	1	3	1	5	△ 20.0	0	4	1	5	△ 20.0	0	4	1	5			
	鉄鋼・金属	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1			
	一般機器	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	50.0	1	1	0	2	△ 50.0	0	1	1	2			
	電気機器	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1			
	輸送機器	△ 100.0	0	0	2	2	0.0	1	0	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 100.0	0	0	2	2	0.0	0	2	0	2	△ 100.0	0	0	2	2	0.0	0	2	0	2	△ 100.0	0	0	2	2			
製造業計	△ 23.1	4	12	10	26	△ 15.4	2	18	6	26	0.0	2	22	2	26	△ 3.8	0	25	1	26	△ 34.6	0	17	9	26	△ 11.5	0	23	3	26	△ 15.4	1	20	5	26	△ 11.5	2	19	5	26	△ 34.6	0	17	9	26				
非製造業	卸売業	△ 25.0	1	1	2	4	50.0	2	2	0	4	75.0	3	1	0	4	0.0	0	4	0	4	△ 50.0	0	2	2	4	△ 25.0	0	3	1	4	X				0.0	0	4	0	4	△ 50.0	0	2	2	4				
	小売業 (商店街含む)	△ 27.3	2	4	5	11	0.0	0	11	0	11	△ 27.3	1	6	4	11	0.0	0	11	0	11	△ 9.1	1	8	2	11	△ 18.2	0	9	2	11					△ 27.3	0	8	3	11	△ 27.3	0	8	3	11				
	サービス業	△ 100.0	0	0	2	2	X				△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0					0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2					
	建設業	20.0	1	4	0	5					20.0	1	4	0	5	△ 20.0	0	4	1	5	0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5	0.0					0	5	0	5	0.0	0	5	0	5	20.0	1	4	0	5
	運輸業	0.0	0	2	0	2					50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0					0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2
	非製造業計	△ 20.8	4	11	9	24					13.3	2	13	0	15	4.2	6	13	5	24	△ 8.3	0	22	2	24	△ 16.7	1	18	5	24	△ 16.7					0	20	4	24	△ 16.7	0	20	4	24	△ 20.8	1	17	6	24
全体	△ 22.0	8	23	19	50	△ 4.9					4	31	6	41	2.0	8	35	7	50	△ 6.0	0	47	3	50	△ 26.0	1	35	14	50	△ 14.0	0	43	7	50	△ 15.4	1	20	5	26	△ 14.0	2	39	9	50	△ 28.0	1	34	15	50

## D I 値推移表 (H30.12月 ~ R1.11月期)

### 《売上高の推移》

前年同月比	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11
食料品製造業	▲ 16.7	▲ 50.0	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 16.7	▲ 66.7	▲ 50.0	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 33.3
製造業(食料品製造業以外)	▲ 5.0	▲ 15.0	0.0	▲ 15.0	5.0	▲ 5.0	0.0	▲ 15.0	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 20.0	▲ 20.0
製造業計	▲ 7.7	▲ 23.1	▲ 3.8	▲ 19.2	▲ 7.7	▲ 7.7	▲ 15.4	▲ 23.1	▲ 30.8	▲ 26.9	▲ 26.9	▲ 23.1
卸売業	▲ 75.0	▲ 25.0	▲ 100.0	▲ 75.0	25.0	▲ 50.0	▲ 100.0	25.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 25.0
小売業(商店街含む)	▲ 36.4	▲ 63.6	▲ 36.4	▲ 54.5	▲ 36.4	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 63.6	▲ 27.3
サービス業	50.0	50.0	50.0	▲ 50.0	50.0	50.0	50.0	▲ 50.0	50.0	50.0	▲ 100.0	▲ 100.0
建設業	40.0	▲ 20.0	20.0	20.0	▲ 40.0	20.0	20.0	0.0	40.0	0.0	▲ 20.0	20.0
運輸業	50.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 12.5	▲ 33.3	▲ 29.2	▲ 41.7	▲ 12.5	▲ 8.3	▲ 16.7	▲ 8.3	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 58.3	▲ 20.8
全体	▲ 10.0	▲ 28.0	▲ 16.0	▲ 30.0	▲ 10.0	▲ 8.0	▲ 16.0	▲ 16.0	▲ 24.0	▲ 20.0	▲ 42.0	▲ 22.0

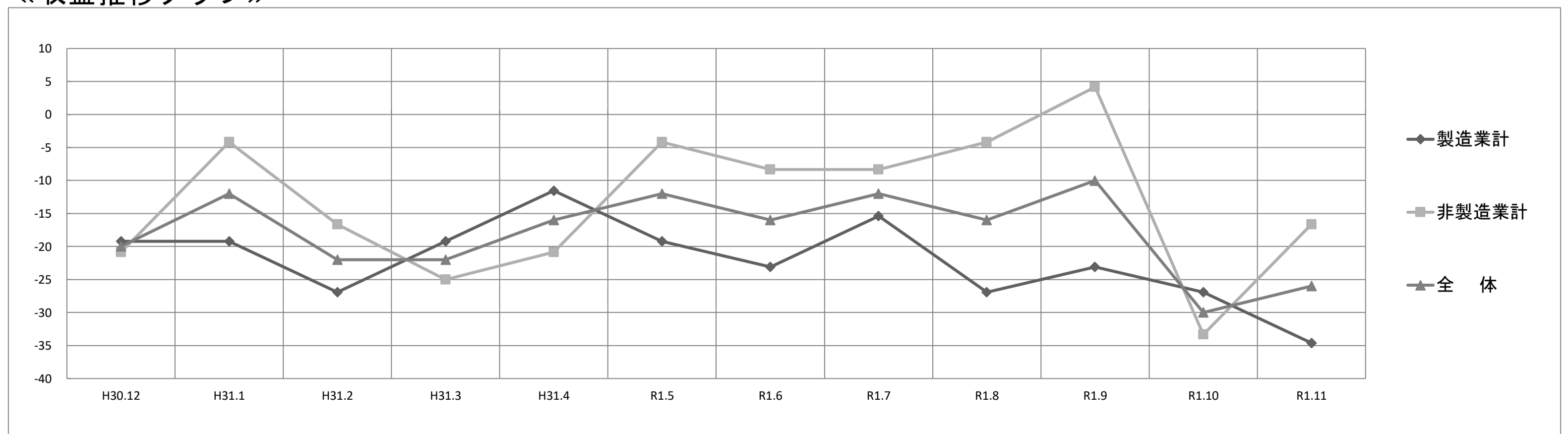
### 《売上高推移グラフ》



### 《収益の推移》

前年同月比	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11
食料品製造業	16.7	0.0	0.0	0.0	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 50.0	0.0	▲ 16.7	▲ 33.3
製造業(食料品製造業以外)	▲ 30.0	▲ 25.0	▲ 35.0	▲ 25.0	▲ 10.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 15.0	▲ 20.0	▲ 30.0	▲ 30.0	▲ 35.0
製造業計	▲ 19.2	▲ 19.2	▲ 26.9	▲ 19.2	▲ 11.5	▲ 19.2	▲ 23.1	▲ 15.4	▲ 26.9	▲ 23.1	▲ 26.9	▲ 34.6
卸売業	▲ 25.0	25.0	▲ 75.0	▲ 50.0	0.0	0.0	▲ 25.0	25.0	▲ 25.0	25.0	▲ 50.0	▲ 50.0
小売業(商店街含む)	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 9.1	▲ 18.2	▲ 9.1	▲ 9.1	▲ 45.5	▲ 9.1
サービス業	0.0	50.0	50.0	▲ 50.0	50.0	50.0	50.0	▲ 50.0	50.0	50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 40.0	0.0	▲ 20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 20.8	▲ 4.2	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 20.8	▲ 4.2	▲ 8.3	▲ 8.3	▲ 4.2	4.2	▲ 33.3	▲ 16.7
全体	▲ 20.0	▲ 12.0	▲ 22.0	▲ 22.0	▲ 16.0	▲ 12.0	▲ 16.0	▲ 12.0	▲ 16.0	▲ 10.0	▲ 30.0	▲ 26.0

### 《収益推移グラフ》

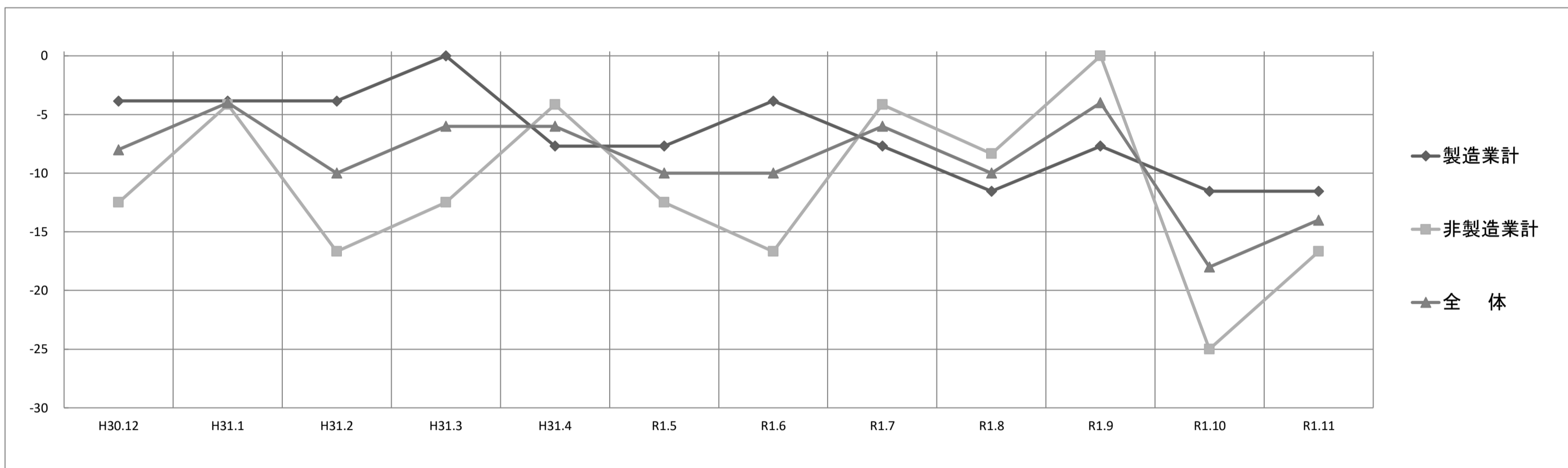


## D I 値推移表 (H30.12月 ~ R1.11月期)

### 《資金繰りの推移》

前年同月比	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11
食料品製造業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 16.7	0.0	▲ 16.7	▲ 33.3	0.0	▲ 16.7	▲ 16.7
製造業(食料品製造業以外)	▲ 5.0	▲ 5.0	▲ 5.0	0.0	▲ 10.0	▲ 5.0	▲ 5.0	▲ 5.0	▲ 5.0	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 10.0
製造業計	▲ 3.8	▲ 3.8	▲ 3.8	0.0	▲ 7.7	▲ 7.7	▲ 3.8	▲ 7.7	▲ 11.5	▲ 7.7	▲ 11.5	▲ 11.5
卸売業	▲ 25.0	25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	0.0	0.0	▲ 25.0	25.0	▲ 25.0	25.0	▲ 25.0	▲ 25.0
小売業(商店街含む)	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 9.1	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 9.1	▲ 9.1	▲ 36.4	▲ 18.2
サービス業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0
建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 12.5	▲ 4.2	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 4.2	▲ 12.5	▲ 16.7	▲ 4.2	▲ 8.3	0.0	▲ 25.0	▲ 16.7
全体	▲ 8.0	▲ 4.0	▲ 10.0	▲ 6.0	▲ 6.0	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 6.0	▲ 10.0	▲ 4.0	▲ 18.0	▲ 14.0

### 《資金繰り推移グラフ》



### 《景況の推移》

前年同月比	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11
食料品製造業	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 50.0	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 33.3
製造業(食料品製造業以外)	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 20.0	▲ 35.0	▲ 15.0	▲ 15.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 30.0	▲ 35.0
製造業計	▲ 11.5	▲ 15.4	▲ 23.1	▲ 23.1	▲ 11.5	▲ 26.9	▲ 19.2	▲ 15.4	▲ 30.8	▲ 23.1	▲ 26.9	▲ 34.6
卸売業	▲ 25.0	0.0	▲ 75.0	▲ 50.0	▲ 25.0	0.0	▲ 25.0	0.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
小売業(商店街含む)	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 36.4	▲ 27.3
サービス業	0.0	50.0	0.0	▲ 50.0	50.0	50.0	50.0	▲ 50.0	50.0	50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 40.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 16.7	▲ 4.2	▲ 25.0	▲ 20.8	▲ 20.8	▲ 8.3	▲ 8.3	▲ 16.7	▲ 8.3	▲ 12.5	▲ 29.2	▲ 20.8
全体	▲ 14.0	▲ 10.0	▲ 24.0	▲ 22.0	▲ 16.0	▲ 18.0	▲ 14.0	▲ 16.0	▲ 20.0	▲ 18.0	▲ 28.0	▲ 28.0

### 《景況推移グラフ》

